

平成26年度屋久島研究講座

第1回

屋久島学の野外霊長類学最前線

講師 阿形 清和



京都大学理学研究科教授

日時 平成26年5月23日(金)
19:00~20:30

21世紀に入って、M9を越える超巨大地震、これに伴う大津波が立て続けに起こり、世界を驚嘆させている。大津波を伴う現象は海溝型(プレート境界型)地震に特徴的であり、しかも超巨大地震の場合は、複数の領域が連動して発生したものとは認識されているが、その発生メカニズム未だによくわかっていないし、予知も不可能である。しかし世界の津波被災地においては、約500年や約1000年前に発生したとされる津波痕跡が多数発見されており、地質・地形学的手法に基づいて、過去の大津波の遡上規模、地震の場所や規模、それらの大まかな繰り返し周期が解明されつつある。

巨大津波の研究意義とその重要性、さらに自然災害に対する平素の地学教育の重要性について、研究者の立場から私論を述べてみたい。

近年の解析機器の進歩により、微量のDNAなどから、これまで見えないものが見えるようになってきました。今回は、京都大学理学研究科生物科学専攻の屋久島実習から最新の成果について、わかりやすく説明します。

第2回

巨大津波痕跡を探る!

講師 七山 太

独立行政法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 上級主任研究員

日時 平成26年5月24日(土)
19:00~20:30

南海トラフ巨大地震発生時における鹿児島県内の最大津波は屋久島が最大と予想されています。



場所 屋久島環境文化村センター (無料)

☆一般の方の予約は必要ありませんが、受講証明書の必要なガイドの方は必ず前日までにお申し込みください。

主催 公益財団法人 屋久島環境文化財団

共催 屋久島町 屋久島町教育委員会 屋久島町エコツーリズム推進協議会
公益社団法人屋久島観光協会 屋久島学ソサエティ